

みらいコース [上限 50 万円] 【提案書】 **[公開]**

提案名 ※25文字以内	子どもたちからのサプライズプレゼント
グループ名 ※25文字以内	一般財団法人 横浜市母子寡婦福祉会

【1】 提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

昭和 26 年、戦災未亡人等の救済と自立への努力を図るための任意団体として発足、昭和 31 年に公益法人の許可を得、現在に至ります。横浜市内在住の母子家庭の母および寡婦に対し、生活の安定と向上のために必要な支援を行い、福祉の向上に寄与することを目的としています。母子自立促進事業として、親子での学習・体験活動を実施するほか、平成 21 年より社会貢献活動として運営する区役所売店を中心にペットボトルキャップの回収を行い、エコキャップ運動への参加協力をしています。

■ ホームページ <http://www.zaibosi.org/>

【2】 助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	「子どもたちからのサプライズプレゼント」参加者の募集 企画実施に向けての準備(フラッシュモブ内容・実施ポイントの選定など)
10月	参加者への事前説明および練習開始
11月	参加者の練習会
12月	清掃活動実施
1月	報告会・反省会の実施
2月	
3月	

【3】 助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。

- (1)活動の内容 (2)活動の主催者及び参加者 (3)活動を実現するための方法 (4)時期 (5)場所
- (6)当地区で活動を行う、また応募の理由 (7)活動を行うことによる当地区へのメリット(効果)
- (8)その他、特徴やアピールする点

(1)活動の内容

清掃活動に参加した子どもたちが、途中でフラッシュモブを始めることにより、みなとみらいの街行く人々に驚きと笑顔のプレゼントを同時に届けます。

(2)活動の主催者及び参加者

主催者:一般財団法人横浜市母子寡婦福祉会

参加者:みなとみらい周辺在住の子ども、横浜市内在住のひとり親家庭の子ども、およびその親

(3)活動を実現するための方法

募集方法:横浜市立本町小学校キッズクラブや西区子育て支援拠点、シングルマザー向けに配信しているメールマガジン「ぼし・maga」(登録数約 1800 世帯)で参加者を募ります。

ワーク内容:心魂プロジェクトの方々を講師に迎え、事前に2日間の練習を通し、清掃活動当日には参加者が「心のポジティブスイッチ」を入れるコツを身につけ、街の人たちにサプライズプレゼントを渡せるように準備します。

(4)時期

事前練習:2014年10月~11月 清掃活動:2014年12月

(5)場所

みなとみらいに設定した清掃コース

(6)当地区で活動を行う、また応募の理由

横浜としてイメージされる中のひとつにも挙げられるみなとみらい地区は、商業施設などが充実し人の流れも多く賑やかです。そのような街中で、サンタクロースとなってフラッシュモブをしながら清掃活動を行うことにより、子どもたちが人に笑顔というプレゼントを与えられる側であるという喜びを実感し、自ら能動的に活動するきっかけにすることが出来ると思われまます。また一緒に参加する親にとっても、固く捉えられがちな地域貢献活動が、楽しみながら出来ることに気づいていただくきっかけになると思われまます。

(7)活動を行うことによる当地区へのメリット(効果)

フラッシュモブを取り入れることにより・・・

- ① 近隣に居住している子ども(親)が自分の住む街の環境整備に、楽しみながら参加することが出来ます。
- ② みなとみらいに集う人々にも単なる「地域の清掃活動」から「おしゃれな地域での楽しい清掃活動」というイメージが出来ることにより、今までボランティア活動に関わったことの無い方でも「みなとみらい地区の清掃活動に参加するのは楽しいこと、おしゃれなこと」として興味を持ち、本企画だけでなく、みなとみらい地区で実施されている様々な活動に興味のアンテナを貼り、また訪れたい場所、自分も参加したい活動として印象付けられると思われまます。

(8)その他、特徴やアピールする点

横浜市母子寡婦福祉会は横浜市内に住むひとり親家庭の支援を行う団体ですが、その支援を行う過程で、子どもたちが親の価値判断や親の抱えた状況で行動を制限される可能性も高く、子どもたちの生きる未来のため自分で考え行動する力を持つ機会を増やす必要があると考えています。それは決してひとり親家庭だけにとどまらず、どのような環境で育つ子どもも同様です。子どもたちがボランティア活動を行うお兄さん、お姉さんをロールモデルとして、自分の人生をデザインできるよう、支援するひとつのきっかけになると思われまます。

収 支 予 算 書

グループ名 一般財団法人 横浜市母子寡婦福祉会

1 収入 (自己資金や他の助成金などを記入してください。)

項 目	金 額	説明 (負担者及び負担方法等)
助成金 (A)	280,000	
自己資金	70,000	
合 計 (B)	350,000	(B) ≥ (C)

2 支出 (助成金対象経費分)

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
募集チラシ	300	100	30,000	本町小学校キッズクラブ 西区子育て支援拠点
講師派遣	14	10,000	140,000	講師2名1組、3会場各2回練習、清掃当日
配布資料	600	10	6,000	フラッシュモブ内容説明資料
イベント保険	360	30	10,800	参加者100名、スタッフ20名 3日分 (練習2回+清掃当日)
賃借料	6	5,000	30,000	練習会場費 (3会場各2日分)
スタッフ交通費	15	2,000	30,000	スタッフ5人*3日分
アルバイト人件費	15	5,000	75,000	アルバイト5人*3日分
通信運搬費	100 200	82 50	8,200 10,000	切手代 電話・FAX等
消耗品費	一式	10,000	10,000	貼れパネ等
合 計 (C)			350,000	【みなとコース】(C) ≥ (A) 【みらいコース】(C) ×4/5 ≥ (A)

母子の自立をめざして

・・・母子会がおこなう事業

☆親子体験・学習事業

- ～おやこで今しかできない体験をたっぷりと『自然遊び体験』・・・キャンプ・ハイキング
- 『収穫体験』・・・じゃがいも堀りなど
- 『地域祭りへのバザー参加』『クリスマス会』
- 『新一年生をお祝いする会』
- 『おやこ教室』・・・料理作り、手芸ほか
- ☆無料学習会（小学1年～中学生対象）
- ～意欲のある子どもたちに学習の機会を
- ☆教養講座・研修事業
- AED研修、歌舞伎鑑賞、一泊研修など
- ～資格取得や教養を豊く場として
- 役員研修会
- ～ボランティアの方の研修会です

《その他の事業》

- ・緊急母子低額資金貸付事業
- ・臨時の出費で資金が必要になった時
- ・収益事業
- ・母子・寡婦の働く場所を提供するために公共施設内（区役所等8か所）売店の運営
- ・交流事業
- ・横浜市内の行政区を単位として支部活動を行っています。地域での交流事業を通し、互いに支えあいの心を共有した仲間づくりが目的です。
- ・福祉に関する調査研究
- ・新規支援事業の企画・開発、事業化のための調査研究、各種セミナー・研修会への参加
- ・社会貢献活動
- ・私たちはエコキャンプ運動の趣旨に賛同し、パトロールのキャンプ収集活動に参加しています。

・・・母子会へ入会のご案内

一般財団法人横浜市母子寡婦福祉会（略称『ほしかい』）が実施する自主事業の多くは収益事業の余剰金及び会費、寄附などによって成り立っています。母子会の目的、活動にご賛同いただきご支援くださいますようお願い致します。会費は、4月から翌年3月までの1年を単位とします。

【正会員】

母子会の趣旨に賛同し、事業や活動を担い、運営に係る横浜市内在住の母子家庭の母並びに寡婦

年会費 500円

【賛助会員】

母子会の趣旨に賛同し、会費で法人の運営を支える個人の会員

年会費 500円（1口）

【法人賛助会員】

母子会の趣旨に賛同し、会費で法人の運営を支える企業、団体の会員

年会費 10,000円(1口)

◆入会に関するお問い合わせは事務局まで

TEL 045-651-0390

シングルマザーへの情報提供

『ほしかい』から情報発信ツールとしてメルマガジン「ほし・maga」を配信しています。イベントやセミナーの情報、季節の簡単レシピ、行政からの情報やプレゼント情報（プレゼントは『ほしかい』会員のみの配布）などを配信しています。「ほし・maga」を購読希望の方はメルマガ会員への登録が必要です。登録（無料）はこちらから⇒

又は下記アドレスから ↓

<https://lb.bme.jp/bm/p/f/ft.php?id=4188>



◆各種事業、メルマガに関するお問い合わせは母子会事務局まで

TEL 045-651-0390 FAX 045-227-6338 E-mail: info@zaibosi.org

～横浜市内にお住まいの
ひとり親家庭の方が対象です～



（横浜市受託事業）

《横浜市母子家庭等就業・自立支援センター事業》

◇就労支援サービス

担当の就労支援員がお住まいの区役所に向き、原簿執筆手当を受給されているひとり親家庭のお母さん・お父さん等を対象に、就労相談や自立のための各種情報の提供、職業紹介などお一人お一人に合わせてマンツーマンでサポートします。

サービスの申し込みは 045-227-6337

またはお住まいの区役所の

福祉保健センター ことも家庭 支援課へ

◇職業紹介事業

厚生労働省から職業紹介事業の許可を受け、職業紹介所を開設しています。（有料職業紹介事業許可番号 14-ユ-3003677）市内の企業・事業者に対し、ひとり親家庭のお母さんお父さん等の就労に対する理解と雇用拡大をお願いする活動を行い、これにより得られた求人情報の提供や職業紹介を行っています。

※ 利用料は無料です。

※ 求人情報は就業・自立支援センターに設置したファイル又はホームページにて閲覧できます。 <http://www.zaibosi.org/>

◇無料法律相談

女性弁護士によるひとり親家庭のお母さん・お父さん等を対象とした面談相談です。夫婦家族間の法律上の問題を解決するため、個別に相談に致します。

相談日：毎月3回 予約制（一人40分）

予約電話：045-663-4188

受付時間は月～金 9時～20時30分（土日祝日、年末年始を除く）

◇ひとり親家庭の生活相談

ひとり親家庭で日常生活やお子さんのことでお悩みの方、どんなことでも、お気軽にご相談ください。ひとり親家庭に対する情報の提供も行っております。

相談受付電話：045-663-4188

相談時間：月～金曜日（土日祝日・年末年始を除く）

午前9時から20時30分

※ 日中は仕事や子育てで落ちついて相談する余裕がない方のために、夜間も相談に願っています。

一般財団法人横浜市母子寡婦福祉会 事務局

〒231-0014 横浜市中区常盤町3-24 サンビル8階

TEL 045 (651) 0390 FAX 045 (227) 6338

Email: info@zaibosi.org

心魂（こころたま）プロジェクト

心魂プロジェクトは2013年春

『 難病の中に生きる子供、ご家族と手を繋ごう 』

と言うアーティスト達の想いから始まりました。

心魂プロジェクトのアーティストは劇団四季でメインキャストとして活動していたメンバーをはじめミュージカル・映像音楽の作曲家、ジャズバイオリニスト、ヨガインストラクターなどそれぞれの分野で活躍してきた多種多様なパフォーマーが、

『生きる喜びを表現することを通して共有する』という理念のもと集まったメンバーです



私たちは地域社会、未来を生きる子供達に向けて心魂プロジェクトと共に『生きる喜び』を生み出す活動に歩を進めて下さる企業・団体・学校様との出会いを求めています

＜ 病院及び被災地の子供たち向け ＞

難病の子ども、被災した人々など、なかなか生のパフォーマンスに触れることのできない方々の元へ、アーティストたちが直接伺い、現場の方々が必要とする内容を、環境に合わせて柔軟に、演目やワークショップを作っていきます。
例) 絵本読み聞かせ、絵本をミュージカル化して上演、歌・踊り・お芝居を使ったワークショップ等

＜ 学校向け（芸術鑑賞・特別授業等） ＞

上記の内容にプラスして、難病のお話を、朗読劇という形で上演させていただきます。

プログラム例) 3時間の場合

1. プロの生演奏（数曲＋リクエストも承ります）
2. 難病と向き合う子供の話を朗読劇として上演『命の尊さ』を伝えます
3. 手作り楽器（ヤクルトの空き容器にビーズを入れる等）を皆で作って共に1曲を作り上げます。

又は、歌ったり、踊ったり、お芝居をして一つの作品を全員で作ります。

私達が大切にするのは「完璧なものをする為に練習する」のではなく

『自分だけの表現を導き出すこと、その結果心が躍動する魅力』を体験する事です。

＜ 企業・団体向け ＞

心魂プロジェクトメンバーが伺い、ライブ及びトークショーを開催致します

皆さまから頂いた収益を使用して、病院や、被災地への活動費の一部とさせていただきます。

ライブ例)

1. 心と体をほぐすストレッチやヨガ等、参加型プログラム
2. 生演奏＋トークショー（メッセージ性のある曲＋リクエストも承ります）
3. 仕事に使える呼吸・発声法等のワークショップ
4. 難病と向き合う子供の話を朗読劇として上演『命の尊さ』を伝えます

上記プログラムの中から、ご要望に合わせて柔軟に対応させていただきます